

育児休業取得状況等報告書

【企業担当者記載欄】

1 企業名	シヨウ観光株式会社
2 貴社の取組状況について	<p>(1) 男性の育児休業促進に取り組むきっかけ・背景 社会的要請、法整備の進展、男性の育児参加が将来の人口に多大な影響を及ぼしうるとの背景のもと、社員の福祉増進のため、事業主の判断指揮による。</p> <p>(2) 男性の育児休業取得促進にかかるこれまでの取組 当初は1～2週間の実績であったが、令和4年10月1日以降、特に出生時育休は28日以上取得・原則として促進。</p> <p>(3) 取得促進にあたっての課題とその解決策、工夫した点 育児取得者の業務引継ぎは、既存の各レベルの職務・業務内容の資料と本人・職場責任者との意見調整をもとに、それを細分化して職場全体に割り振った。</p> <p>(4) 取得者がいる職場の業務継続のために取り組んだこと 職場責任者による上記(3)で割り振られた社員とのコミュニケーションを密にし、意見を聴取して無理のないことを確かめながら進めた。</p> <p>(5) 定着に向けて、更に取り組んでいることがあれば教えてください 「仕事と育児の両立を進めよう」のパンフレットを男性職員に配布し、取得の促進を図っている。</p>

【対象従業員記載欄】

1 育休取得期間	通算28日間
2 育児休業の取得について	<p>(1) 育児休業を取得したきっかけ 会社から育休取得の促進があったため。</p> <p>(2) 育児休業を取得して良かったこと 産後すぐの子供と長い時間を触れ合うことができ、家族と共有して育児の良さ・大変さを学べたこと。</p> <p>(3) 育児休業の取得にあたり、円滑に業務を引き継ぐ上で工夫した点 前もって普段からコミュニケーションを取っているのであまり苦労しませんでした。自身の任されている仕事を、今後してもらいたい後輩に教える時間を意識して作りました。</p> <p>(4) 育児休業の取得経験を通して業務に活かしていること 同居の祖母と接する時間が増え、高齢のお客様との接客に活かすことができました。お客様と目線を合わせることができ、お客様に褒められました。</p> <p>(5) これから育児休業の取得を検討している方へのアドバイス 普段からコミュニケーションを取って、育休を取得しやすい環境づくりを目指していきましょう。</p>